

## 事業実績シート（研修及び調査・研究）

### 1 事業の概要

協会事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 研修機関派遣事業 ( <input checked="" type="checkbox"/> 市町村アカデミー <input type="checkbox"/> 国際文化アカデミー <input type="checkbox"/> NERC) <input type="checkbox"/> 地方4団体研修及び調査・研究事業		
自治体(団体)事業名	研修機関派遣事業 (市町村職員中央研修所)		
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名
	時津町	総務部 総務課	青山 姫子
事業期間	開始年	平成12年 4月 1日 (16年目)	
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[ ]		
実施期間	(開始日) 平成27年 4月23日 (完了日) 平成28年 1月15日		
委託した場合の委託内容	委託先機関名	担当者名	連絡先(TEL)
	(委託内容)		
研修及び調査・研究の目的  ※実施前に予想していた目標・目的を記載ください。	対象(誰を・何を)	目標・目的	
	時津町職員(特別職を含む)	市町村職員中央研修所における研修を通じて、本町職員の能力の向上を図り、住民の福祉と地域の振興に資することを目的とする。	
研修及び調査・研究の具体的な内容  ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように記載してください。	市町村職員中央研修所へ職員を派遣し、職員として必要な知識、技能、態度を習得し、広い視野のもと、適性かつ効率的な事務処理ができるようになり、全体の奉仕者としての資質の向上が図られるとともに、住民の福祉と地域の振興に資することを目的としている。 本助成事業は、市町職員が受講のために要する旅費及びその他の諸経費に対し一部(実費額の3分の2の額)を助成することにより、当該研修所への職員派遣を推進し、職員の資質向上と住民サービス向上を目的とするものである。		
研修及び調査・研究の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景)		
	市町村職員中央研修所は、多様化する住民ニーズに即した市町村行政が推進されるよう、研修を通じて市町村職員の能力の向上を図り、もって住民の福祉と地域の振興に資することを目的として昭和62年4月に設置され、本町も、これらを目的とし、当該研修所へ職員を派遣している。		
(経緯・現状)	最近における少子高齢化社会や人口減少社会における課題に対応し、地方創生へ向けて、多様化する住民ニーズに即した市町村行政が推進されるよう毎年度、当該研修所への派遣職員数を一定数確保し、職員の能力向上と意識改革を図っている。		

## 事業実績シート（研修及び調査・研究）

### 2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算		当該年度決算				
事業費（円）		80,380	356,896		371,836				
(財源内訳)	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	市町振興共同事業助成金	53,586	237,930		247,889				
	一般財源	26,794	118,966		123,947				
目標・目的指標	指標名		指標設定の考え方		単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	① 市町村職員中央研修所への職員派遣数		派遣職員数	人	目標	5	5	5	
					実績	1	4	4	
					目標達成率 (%)	20%	80%	80%	
	②				目標				
					実績				
					目標達成率 (%)				

### 3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 実施することによるメリット (内容、程度等)
	専門的な知識、技能の習得及び他自治体との情報交換の確保ができる場であり、職員の資質向上、住民サービス向上に与える影響は大きい。

## 事業実績シート（研修及び調査・研究）

### 4 有効性の点検、実現性の点検

有効性の点検	(1) 目標（目的）指標の達成状況	
	<input type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標をほぼ達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標を下回った
(2) 実施前、想定していた目標・目的が達成できた理由またはできなかった理由		
<p>業務の日程調整等の理由から、他事業への参加が多く見られたため。 今後も例年通り、隨時研修案内を出し参加を促す。</p>		
実現性の点検	(1) 事業への反映	(具体的な内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できる <input type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できない	学んだ専門的知識を生かし、少子高齢化や人口減少社会における様々な課題を把握し、多様化する住民ニーズに即した町政の推進を行う。
実現性の点検	(2) 公共性の評価	(具体的な内容)
	本研修及び調査・研究を通じて <input checked="" type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を将来的に還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できない	専門的知識及び全体の奉仕者としての資質の向上が図られたことにより、住民の福祉と地域の振興のため、より実践的な業務を行うことができるようになる。

### 5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> 目標・目的未達成	<input type="checkbox"/> 目標・目的達成	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
実現性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業へ反映	<input type="checkbox"/> 事業に反映できない	<input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的な内容	職員の資質向上と住民サービス向上を目的とし、引き続き当該研修所への派遣を行う。 また、限られた予算の中で、高度で専門的な研修の機会を得るために、本助成事業の継続は必要である。				